

KANKOU TAKASAKI

観光たかさき

2013
SUMMER 夏号
VOL.123

Experience

夏の親子体験

桃花水源の八幡台地を訪ねる

高崎の観光再発見

「高崎」という地名がついた舞台



上野国一社八幡宮



拜殿正面

■上野国一社八幡宮

住所：高崎市八幡町 632 TEL：027-343-2648
※ 7月29日みそぎ大祓い。11月3日秋祭り



◀鐘楼

す。それから転じて、物事のはじめにあたって、邪を退け生成発展を祈念する神となり、農事にあつては五穀豊穡を、商売にあつては繁盛を、人事にあつては無病息災・開運招福、社会・国家にあつてはその安泰と平和を祈念する大神となりました。古くから地域の人々の暮らしに深くかわり、信仰の対象となつていきます。

境内には、歴史と風格を感じさせる建造物が点在し、以前は本地堂（あみだ堂）だった天満宮、仁王門だった神門、鐘楼や拝殿内の護摩堂など、由緒ある仏殿様式のものが残っています。

館内には、大刀・鉄鉾・鉄鍔（鉄のやじり）・挂甲（よろい）などの武器・武具類、杏葉（馬の装飾品）、鏡板（くつわの一部）などの馬具、耳環（耳飾り）

でも知られています。観音塚古墳は6世紀末ごろの築造で、群馬県内では最後の前方後円墳とされ、わが国を代表する横穴式大型石室を持つことでも知られています。

「音塚考古資料館」があります。観音塚古墳は6世紀末ごろの築造で、群馬県内では最後の前方後円墳とされ、わが国を代表する横穴式大型石室を持つことでも知られています。

八幡宮から「観音塚考古資料館まで750m」という案内板に従って住宅地を抜けると、「観音塚古墳」の国重要文化財指定の出土品30種300点余りが保存・公開されている「高崎市観音塚考古資料館」があります。

■東国を代表する大型石室。超一級の出土品のある資料館

また、境内は県・市指定の緑地地区で、木々の緑が清々しい場所となっています。

かつて神々への信仰は、本来土着の素朴なもので共同体の平穩を祈る閉鎖的なものでしたが、それらは仏教が社会へ浸透する過程で次第に融和し神仏混合がはかられた歴史を伝えています。

かつて神々への信仰は、本来土着の素朴なもので共同体の平穩を祈る閉鎖的なものでしたが、それらは仏教が社会へ浸透する過程で次第に融和し神仏混合がはかられた歴史を伝えています。



観音塚古墳の墳丘



日本を代表する巨石石室をもつ明日香村の石舞台古墳に対し、「群馬の石舞台」と呼ばれる観音塚古墳の石室

などの装身具、仏教文化の影響を受けた銅鏡、須恵器（朝鮮半島の技術が伝えられた新しい焼物）などの出土品が並び、技術や美意識の高さが伝わってきて見応えがあります。その中に現代のベルトのバックルと同様のものを見つけたとき、古代人との距離が一気に近づくはずですよ。

次に資料館で懐中電灯を借りて150m離れた観音塚古墳へと向かいます。タイムトンネルが口を開けたような石室の入口を腰をかかめて入っていくと、長さ7・14m、幅3・42m、高さ2・8mと想像以上の空間が広がります。最大で十畳大の巨石を、わずか30個ほどで組み上げた石室には、ただただ驚かされます。

C O L U M N

牧場直営ならではの特別な美味しさ

40年にわたって高水準の酪農（乳牛育成）に積極的に取り組み、安全な製品を届けてきた観音山丘陵にある長坂牧場。そのしぼりたての牛乳を使用した独特のコクとろみがあって酸味を抑えた飲むヨーグルト、季節の旬の食材を使用した期間限定やシチリア産の塩を使った「海のジェラート」など種類豊富なジェラート、まろやかな舌ざわりと芳醇な風味が特徴のソフトクリームなど、牧場直営店ならではの、高品質で夏にぴったりのスイーツが魅力。



■みる工房タンポポ 群馬八幡駅前直売店
住所：高崎市剣崎町 201-15
電話：027-343-0505
営業時間：11時～19時



■高崎市観音塚考古資料館（八幡観音塚古墳）

住所：高崎市八幡町 800-144
TEL：027-343-2256
開館時間：9時～16時 休館日：月曜
入館料：一般 100円 大高生 80円
※交通案内：電車/JR群馬八幡駅より徒歩25分、
バス/JR高崎駅、群馬八幡駅よりぐるりん少
山線、観音塚考古資料館前下車。
※資料館では八幡台地の古墳を巡るウォーキン
グや勾玉づくり・古代織りなどの体験学習を
行っています。興味のある方はお問合せを。



精美な銅製容器
「承台付銅甗」



金銅製心葉形透彫杏葉
（こんどうせいしんようけいすかしぼりぎょうよう）

こうした巨石は烏川を12kmほど上流にさかのぼった里見地区で採取され、修羅と呼ばれる木製のソリに乗せられて運ばれたという説があります。巨石の運搬の日、大事業となる神事に引き綱にとりついた数百人の引き手が、一心となり声をかけあい力を込めて引く。そんな勢いのある「祭り」のような光景を思い描くことのできる場所が、この観音塚古墳です。

6世紀末前後は前方後円墳建造の最終段階にあり、各地の豪族がヤマト政権の直接支配下に組み込まれた時代。そうした中でこの観音塚古墳にかかわる豪族が、巨大な前方後円墳と横穴

式石室を建造し、豪華で豊富な副葬品を石室内に納めていた事実から、ヤマト朝廷の東国支配に、重要な役割を担い厚遇されたという見方ができます。

■眺望と風通しのよさが
清々しい八幡霊園

観音塚考古資料館から県道10号線に出て右方向に坂を登って行くと、左側に昭和45年に開設された高崎市営八幡霊園があります。霊園内にある中央公園内には、6世紀初頭に造られた「若田大塚古墳」と6世紀前半に造られた「檜ノ木塚古墳」が並び、さらに左側にもうひとつ7世紀後半に造られた「峰林古墳」があります。峰林古墳は小さな横穴式石室があり、晴れた日はその墳頂部から浅間山や八ヶ岳を望むことができる、気持ちの良いスポットです。

また、縄文時代の住居跡も残されていて「若田遺跡群」として県の史跡に指定されています。小高い場所にあつて周囲を見渡せる八幡霊園は風通しがよく、中央公園には心地の良い木



八幡霊園の中の中央公園

陰が確保され、池に流れ込む水が涼しげな音を立てています。真夏は平地より若干気温が低いそう、避暑にはもってこいの憩いの場といえそうです。

■緩速ろ過方式で安全な
水を供給する若田浄水場

霊園の東隣りには、市内最大規模の日量約35,000立方メートルの水を送り出し、地域の約2割をカバーする若田浄水場の敷地が広がります。特筆すべきは、「緩速ろ過方式」という浄水方法を取り入れている点。榛名地域の春日堰から烏川の水を取り入れ、6・5kmの

C O L U M N

旬の食材にこだわった本格割烹をリーズナブルに提供

八幡霊園の周辺には、法事や宴会などの要望に応える割烹料理店が数軒見受けられます。「日本海味処 椿」もそんなお店の一つで、2名から最大48名の宴会のニーズにえています。こだわりは産地直送の魚介類など



ランチメニュー 1,050円（税込）

旬の新鮮な食材を使用し、店主がすべて丹精込めて手づくりしていること。魚介類はその日のよい食材でメニューを組み立てるため、訪れる度新しい料理に出会えます。おもてなしの心と伝統の味を受け継ぎながら、本格割烹を気軽に堪能できる店といえます。

■日本海味処 椿

住所：高崎市八幡町 1106-1
電話：027-343-5857
営業時間：11時30分～14時、17時～22時
月曜定休
※土・日はランチサービスなし。

導水管を通って浄水場に運ばれた水は、砂層に水を通す「砂ろ過」と、砂層の表面と砂層に繁殖した微生物群や藻の働きによる「生物ろ過」を組み合わせて、1日4～5mのゆっくりした速度で約20時間かけてろ過されます。自然の浄化能力によつて



■若田浄水場
■高崎市水道記念館
住所：高崎市若田町 309-2 (若田浄水場内)
電話：027-344-4992
開館時間：9時～16時
休館日：土・日曜日、祝日、年末年始
入館無料



じっくりろ過されるため良質な水となります。
敷地面積約65,000㎡という広さがあり、1池5、000立方メートルのろ過処理能力のある池が10池も確保できるといふ恵まれた条件があるからこそできる取り組みです。
さらに、市街地より高台にあることで高低差を利用した自然流下方式を採用しているため、ポンプの力で水を送り出す動力費がほとんどかからないところも大きな利点です。
浄水場の敷地内から望むパノラマは素晴らしいものですが、場内は水の安全確保のため通常は一般開放されていません。

そこでおススメなのが、浄水場入口付近にある「水道記念館」見学。高崎市は明治43年に3年の歳月をかけて剣崎浄水場(若田浄水場の東側)を建設し、県内で初めて、国内で20番目の浄水場として、本格的な水道事業を創設しました。そういった水道の歴史や仕組みを伝えていきます。希望者には15分ほどの「ミニシアター」の上映もあります。蛇口をひねれば当たり前のように出てくる安全な水。この機会に水道事業への理解を深めてみてはいかがでしょうか。
感性を刺激される！
どこにもない雑貨屋さん
県道10号線をはさんで若田浄水場の向かいにある「JAMCOVER」。一歩足を踏み入れると、個性的で主張の強い雑貨たちのパワーに一瞬圧倒されますが、一つ一つのアイテムに目を向けていくと、ついつい引き込まれて時が経つのを忘れてしまうほどです。
2階のアトリエで企画し作りした雑貨や小物にはじまり、



■JAMCOVER (ジャムカバー)
住所：高崎市八幡町 1362
電話：027-384-8498
営業時間：10時～19時 無休
※ポタジェ展 2013.7.27～8.10
ポタジェとは家庭菜園という意味。
倉淵の野菜農家とのコラボで珍しい野菜をお届けします。

オーナーの小沢理恵さんが生地やボタンからデザインを手がけるライセンスブランド「DeeJAM」(プチジャム)の子供服、ステーションナリー、タオルや陶器。雑貨アーティストのアイデアと工夫にあふれた可愛いらしい作品が並びます。外国の雑貨も多く、ロシアやベラルーシの人形マトリョーシカ。ポーランドやリトアニアのテーブルウェアなど、感性を刺激される雑貨が詰まっていて、まるで宝箱のようです。
特に小沢さんが「アクセサリの中で一番雑貨に近いので好き」と話すブローチは、外国のもの、オリジナルの陶製や布製のものもあり内容が充実しています。

JAMCOVERは「アーティスト雑貨」というジャンルを知ってほしいと、1995年に下北沢に1店目を、2008年に小沢さんの地元である高崎に2店目をオープンしました。
2011年には下北沢から注目目のスポットEast Tokyo(馬喰町)に移転。雑貨アーティストの登録は200人にもなるという、雑貨アーティストとお客様の架け橋的な存在です。
アーティストの個展や、異業種の人たちとのコラボ企画展なども、月に1回～2回のペースで開催し、その優れた創造力や情報発信力は、熱心なファンが他県からも足を運ぶほどの魅力を放っています。訪れる度、新しい発見のある雑貨店です。

市内の祭り・花火大会情報

7|27
(土)

よしい祇園まつり

●吉井文化会館周辺「けやき広場」
(上信電鉄吉井駅から徒歩5分) 午前10時30分～午後9時

●お問い合わせ：吉井支所産業課 TEL.027-387-3134



7|28
(日)

第33回箕郷ふるさと夏祭り

●ふれあい公園 午前10時～午後8時

●お問い合わせ：箕郷支所産業課 TEL.027-371-9065

8|2
(金)

榛名の祭り花火大会

●榛名湖畔(榛名湖町) 午後7時30分～午後9時

●お問い合わせ：榛名支所産業観光課 TEL.027-374-5111

8|11
(日)

第34回ぐんま「はにわの里」夏まつり

●【まつり】市民活動センター(愛称：ソシアス) 午前10時～午後4時

●【花火】上毛野はにわの里公園 午後7時30分～午後8時15分

●お問い合わせ：群馬支所産業課 TEL.027-373-1211

8|16
(金)

新町ふるさと祭り「花火大会・灯籠流し」「ふれあい盆踊り大会」

●烏川総合グラウンド・温井川河畔(小雨決行)
※花火大会・灯籠流しは雨天の場合翌日に順延

●お問い合わせ：新町支所地域振興課
TEL.0274-42-1234



8|17
(土)

くらぶちの夏祭り

●倉渚支所(倉渚町三ノ倉) 午後2時～8時30分
花火大会 午後8時～

※荒天の場合、翌日に順延

●お問い合わせ：倉渚支所地域振興課
TEL.027-378-3111

●02 2013/2014 たかさき華の親善使節

FRIENDSHIP AMBASSADOR



18代目となる「たかさき華の親善使節」の認定証交付式と新旧交代式が4月18日に市内のホテルで行われました。この日「たかさき華の親善使節」として観光協会から認定されたのは、写真左から、俣田蛍さん(東和銀行)、阿久津理沙さん(高崎信用金庫)、俣田沙彩さん(しのめ信用金庫)、岡田亜由美さん(ぐんまみらい信用組合)、吉田有里さん(群馬銀行)の5人で、式典では退任する先輩の言葉に耳を傾け、これからの抱負を思い思いに語っていました。

華の親善使節はこれからの2年間、観光キャンペーンや各イベントで「たかさき」のPRを行っていきますが、今年4月26日から5月6日にかけて行われた「食博覧会・大阪」には全員が参加して「縁起のいいまち高崎」のPRに貢献しました。

第39回高崎まつり

●03

テーマは、【市民総参加】～市民力を凝縮し、そのエネルギーを明日の高崎に！～

8/3・4
(土)(日)両日午後1時～
《大花火大会》3日(土)
午後7時40分～8時30分

伝統の山車巡行

●お問い合わせ
高崎山車まつり実行委員会事務局
TEL.027-321-1257●高崎まつりの花火大会は北関東最大級！
15,000発の花火を50分間で打ち上げるスピード感ある高崎市ならではの
大花火大会をお楽しみにお越しください。
無料観覧場所も広がりました。大迫力の花火を間近で楽しんでください。●高崎まつりは2日間、とにかく楽しく面白い！
神輿に和太鼓、阿波踊りなどの伝統文化、だるまの街ならではの巨大だるま・創作だるまみこし、高崎のうまいもの、被災地域からの特産品の出店にはじまる露店が賑いを演出いたします。山車まつり、技能祭も同時開催いたします。賑やかな高崎まつりにぜひお越しください。

●ワッペンつけて高崎まつりに参加しよう。

今年はワッペンがなんと100円！▶

第2回のまつりから続くワッペンは、市民総参加のあらわれでもあります。「山車」をテーマに1,250通の応募作品のなかから選ばれました。



●お問い合わせ：高崎まつり実行委員会事務局 TEL.027-321-1257

北・中央地区 17台が出場

「第11回(通算39回)高崎山車まつり」が、8月3日(土)・4日(日)の両日に開催されます。今年は輪番制により、北・中央地区の17台の山車が出場を予定しています。

8月3日(土)には、北・中央地区17台の山車もてなし広場まで巡行し、夕刻「集結式」を行います。もてなし広場に17台の山車が一同に集結する情景は圧巻です。また、式終了後には、太鼓の叩き合いが行われ、山車囃子が響くなか、夜空に花火が上がり、祭りは最高潮を迎えます。

8月4日(日)は、市内巡行後、田町通りに17台の山車が勢揃いします。叩き合いでお祭りを盛り上げます。詳細については、広報高崎、パンフレットでお知らせします。

第17回高崎観音山万灯会

まんどうえ

MATSURI

●04

8/24
(土)午後5時～9時30分
観音山一帯にて開催

●お問い合わせ：第17回高崎観音山万灯会実行委員会 TEL.027-322-2269 (慈眼院内)

夏祭りの最後を締める厳かで静かなローソク祭り、高崎観音山万灯会は今年で第17回目を迎えます。観音山全体をお祭りの場として、清水寺・平和塔・白衣大観音・洞窟観音という周遊コースを楽しみながらお詣りしていただく、いわゆるパワースポット巡礼でもあるのです。

各スポットで感謝や願いを込めて灯明(カップローソク)をお供えます。これは、心の垢を落とし、自然の霊気を充電して来るべき実りの季節へ向かう心構えを調べていただくものです。その意味で、昨年まで大盛況であった洞窟観音でのハワイアンフェスティバルをあえて本年はひかえて、洞窟観音の本来持つ幽玄で清澄な空気感を生かす方向での企画を考えています。

晩夏の観音山の夜をご家族や友人とゆっくりと散策しながらお過ごしいただきたく、できればバスやタクシーをご利用くださるか、徒歩で清水の石段からお詣りされますことをおすすめします。

RALLY

機関車の街・高崎 まちなかスタンプラリー

●05



今年も、群馬の魅力をPRする「ググッとぐま観光キャンペーン」が10月1日から12月31日の3ヶ月間実施されます。このキャンペーンと併せ、高崎では、SLのD51、C61、電気機関車のデキといった魅力あふれる機関車が走るこの街ならではのイベントとして、「機関車の街・高崎まちなかスタンプラリー」を、9月1日から11月30日の3ヶ月間実施します。高崎駅周辺のお菓子屋さんや工芸品店、飲食店など約30店舗から3店舗で関連グッズを購入すると特製の「機関車だるま」をプレゼントします。専用台紙は高崎駅総合案内所で。

●お問い合わせ：機関車の街・高崎事務局(高崎市観光課内) TEL.027-321-1257

人情市

ようこそ高崎 人情市

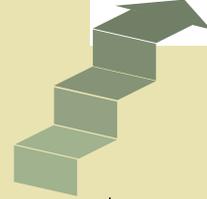


●06

平成25年7月28日(日) (午前8時～午後3時) ※会場：もてなし広場
平成25年8月25日(日) (午前8時～午後3時) ※会場：もてなし広場
平成25年9月22日(日) (午前8時～午後3時) ※会場：もてなし広場●お問い合わせ：事務局 NPO法人高崎やる気堂(高崎市剣崎町1348-1)
TEL 027-343-5130 FAX 027-340-7067 <http://ninjou.gunmablog.net/>

高崎山龍廣寺

井伊直政の信頼厚く山号を賜る



「高崎」という地名がついた舞台

高崎のまちなかには古刹が多い。慶

長3年（1598）に井伊直政が箕輪から交通の要衝・高崎に城を移した際に、箕輪城下のまちがそっくり高崎へと移り、高崎城や城下を囲むように寺が置かれている。

高崎城下の南、聖石橋を望む若松町の台地に「高崎山龍廣寺」があり、山号の高崎山は、「高崎」の由来に深く関わっていると伝えられている。

●住職が直政に「高崎」の地名を進言

高崎は、鎌倉時代まで「赤坂の荘」と呼ばれ、1428年に和田氏が城を築いてから「和田宿」となった。まちなかには和田時代から残る寺社も多い。



◀「高崎山」が掲げられた山門



◀元ロシア人兵士の墓

城を箕郷から和田の地に移した直政は、地名を改めようと思案し、城内の西方、烏川崖上に立派な松があつたので「松ヶ崎」にしようと思ひ立った。さっそく直政は、信頼を厚く寄せる龍廣寺

の白庵和尚に相談したところ、「松は枯れるので良くないでしょう」と言う。白

庵和尚が「新天地で事業が成功するよう、成功高大の意から高崎としてはどうでしょう」と進言したところ、直政は大変感銘を受け「高崎」に決め、龍廣寺に高崎山の山号を与えたという。また直政は、城地鎮護のため白庵に千人法幢を行わせている。

高崎の由来にはいくつか伝承があり、進言したのは恵徳寺の英潭和尚、鷹を放つて城地を決めたので「鷹ヶ崎」となり高崎に転じたという説も残っている。また、直政が移ってくる前、和田時代から高崎という地名が使われていたともされている。

●鬼城と日露戦争の捕虜兵士も眠る

「高崎山」が掲げられた山門をくぐり、龍廣寺の境内に入ると、本堂の左に鐘楼があり風格を漂わせている。現在も朝6時と午後5時に鐘がつかれ、平穏な一日を刻むように周辺に鐘の音が響き渡る。鐘は室町時代の铸造と見られている。

鐘楼の奥が墓所となっているが、ここには、俳聖・村上鬼城と、日露戦争で

捕虜となった3人のロシア人兵士が眠っている。

村上鬼城は俳誌「ホトトギス」を代表する俳人として活躍し境涯の俳人と呼ばれた。慶応元年（1865）生まれ、昭和13年に73歳で生涯を終えた。境内には鬼城句碑「大寺や松の木の間の時雨月」が建立されている。

龍廣寺の墓所奥には陸軍墓地があり、そのかたわらに「元ロシア人兵士の墓」がある。西洋式の平らな3基の墓碑には中央に十字架、上部にロシア語で銘文が記され、左右に日本語で所属、階級、年齢、没年が刻まれている。

日露戦争に出兵した高崎15連隊は、10人のロシア軍捕虜を連れて戻り、龍廣寺に抑留した。そのうち傷病兵の3人が亡くなり、ここに葬られた。第2次世界大戦中は破壊されるのでないかと心配し地下に埋め隠されたこともあったが、昭和51年、日ソ協会高崎支部、龍廣寺住職などにより改修されている。日本の寺院に西洋式の墓碑。不思議な違和感は、明治以来高崎15連隊が存在した証を今に伝えている。鬼城の墓、元ロシア兵士の墓とともに高崎市指定文化財。